

出題の意図および解答例

I. 母性看護における倫理的意思決定支援について述べなさい。

出題の意図：母性看護学・助産学では、女性のライフサイクルを通じて、性と生殖に関する健康や家族の健康、生命の倫理等の視点から看護や助産を考え実践する学問である。生命・人権を尊重・擁護する立場から人々への支援は重要であり、基礎的な知識や考え方を知る必要がある。

解答例：母性看護における倫理的意思決定について、最近の事例（不妊、出生前診断、人工妊娠中絶、代理懐胎他）を用いて以下の理論やモデル等を活用しながら説明することが望ましい。

フライ Fry,S.T 倫理的意思決定過程モデルの4つの課題

- ①倫理的問題（価値の対立）が生じたか。その背景にある事情の理解
- ②問題と中心となっている価値の重要性、関係する人々の価値の重要性の模索
- ③すべての患者、関係する人々にとっての倫理的問題の意味の決定
- ④価値の対立を解決するすべての方法の探索・決定

以上のことは、倫理原則（善行・正義・自律・誠実・忠誠）によって行われる。

ICN 看護師の倫理綱領の看護師の基本的責任を再確認する必要性

- ①健康の増進 ②疾病の予防 ③健康の回復 ④苦痛の緩和

II. 以下の項目から3つを選択し、説明しなさい。

出題の意図：母性看護学・助産学領域において基盤になる概念を知識として正確に持っているかを確認するため。特に最近の母性看護学・助産学領域の対象の理解や社会の変化や現状を理解することが必要である。

解答例：以下の項目において、例えば、「定義：～とは何か」「内容：～とはどのようなものか」「看護：母性看護学としてのあり方・考え方」を述べることが望ましい。

1. 合計特殊出生率の定義および近年の動向
2. 現代女性のライフサイクルの特徴
3. セクシュアリティ（人間の性）
4. リプロダクティブヘルス/ライツ
5. プレコンセプションケア
6. 思春期における性教育
7. 更年期障害に対する看護
8. 不妊治療と看護
9. バースプラン
10. 産痛緩和ケア
11. 母乳育児支援

12. 産後うつ病と援助
13. 産後ケア事業
14. 愛着形成
15. 母親役割獲得過程

今回は「4. リプロダクティブヘルス/ライツ」を著した。

リプロダクティブヘルス/ライツ reproductive health/rights とは、単に生殖の過程に病気や異常が存在しないだけでなく、生殖過程が身体的、精神的および社会的に完全な良好な状態で遂行されることであり、1990年にWHOで提唱され1994年の国際人口開発会議で採択された。その背景には、発展途上国の人口爆発の状況と男女平等、女性のセクシュアリティへの自己決定権の主張がある。リプロダクティブヘルス/ライツの課題は、ライフサイクルに応じて享受する権利、生殖に関する自己決定権、男女平等と公平の権利、性および生殖に関わる安全保障の権利である。母性看護の役割は、リプロダクティブヘルス/ライツの実現に向けることである。